

まぎの郷

通信

“麦の郷とは” 住民のニーズから
生み出され、住民の手によって育てられる

January 2023

ソーシャル ファーム ピネル/くろしお作業所/麦の郷訪問看護ステーション/麦の郷居住福祉事業所/はぐるま共同作業所/はぐるま共同作業所 和の社/はぐるま共同作業所 ラ・テール/麦の郷印刷/障害者就業・生活支援センター つれもて/麦の郷 和歌山生活支援センター/麦の郷紀の川生活支援センター/ハートフルハウス 創/むぎピース/サポートセンター「麦の郷」/こじか園/第二こじか園/ソーシャルファームもぎたて/Po-zkk/六星舎/叶夢向/創cafe/事務所/麦の郷障害者地域リハビリテーション研究所

揮毫：伊藤静美 発行/麦の郷情報管理委員会 TEL(073)474-2466 FAX(073)474-4637
〒640-8301 和歌山市岩橋643 <http://www.muginosato.jp>



初詣



書き初め



✿ くろしお作業所 ✿
1月5日(木)力待神社



✿ 紀の川生活支援センター ✿
1月5日(木)



✿ 創 cafe ✿
1月10日(火)粉河寺



✿ むぎピース 1月5日(木) ✿

私たちのめざすもの ~麦の郷4つの理念~

- 1).麦の郷は、日々学び、育み、発信し続ける人材を育成し、地域福祉の発展を目指します。
- 2).私たちは、ものづくりを通じて障害のある人と地域の共存を実現し、互いに豊かになる実践を目指します。
- 3).私たちは、社会的不利の状態におかれている人々の課題を解決するために、広範な人々をつながりをもとめ、ともに社会変革をめざします。
- 4).麦の郷は、全ての人々が平和で安心して暮らせる社会づくりのために人の輪を紡いでいきます。

あけまして おめでとうございます

社会福祉法人
一麦会・麦の郷



理事長 山本 耕平



化や自己責任化のなかで生じているのです。なかま達や私たちの命や暮らしが危機に陥れている今、その危機を乗り越え、新たな社会を創り出す実践や運動を生み出す必要があると考えます。

麦の郷は、既成（レディメイド）の福祉ではなく、創造性のある（オーダーメイド）福祉を目指してきました。今、作成している第5次プランでは、今後の実践が、創造性のあるものとなることを提起してまいります。このプランのなかでも、麦の郷実践が「やってくれることを待っている」ものではなく「ともに創り上げる」ものであることが強く打ち出されることでしょうか。「今、自分たちが幸せになる為に何が必要か」「今、自分たちが幸せになる社会（地域）を築き上げる為に何が必要か」を考え、みなさまと共にそれを創り上げる取り組みに共に参加できることに喜びを持ちます。麦の郷として追求したい創造性のある福祉実践は、それが、公的に展開されなければなりません。麦の郷と共に歩んで下さるみなさんが多様なニーズを保障する福祉実践や制度を創りあげる主体となり、ユニークな社会を築き上げませんか。

2023年 麦の郷と共に歩んで下さるみなさんと新たな社会を目指した動きを創り上げることができることを願っています。新たな暮らしやすい社会の創造を目指して歩み続けましょう。



昨年中は、麦の郷の仲間たちの生存・発達、麦の郷の運営の為にたくさんのご協力を頂き、心から感謝申し上げます。本年もかわらないご支援をお願い申し上げます。

麦の郷と共に歩んで下さるみなさん、お元気でしょうか。私が、この新年あいさつを執筆している今、私たちの生活を新型コロナ第8波が襲っています。私たちの生活を脅かしてきたコロナ・パンデミックは、まるで、私たちが歩む人類の歴史さえ脅かしているかのような感を与えがちです。しかし、私たちの先達たちは、今までに人類を襲った多くの新型コロナウイルスのパンデミックと向き合い、新たな時代や社会を切り拓いてきました。

私たちが身を置く障害者福祉の歴史のなかでも、社会福祉基礎構造改革以降、コロナパンデミックの影響を受けやすい改悪が進んできました。それは、①措置制度の廃止 ②契約制度による社会福祉の「商品化」③企業参入による社会福祉の「営利事業化」④「応能負担」から「応益負担」としてなされてきたのです。私たちが目の当たりにした障害者や高齢者のグループホームでの人の命と経営の危機は、その社会福祉基礎構造改革後の、福祉の市場

麦の郷の年男・年女

今年の抱負



六星舎

伊藤 貴秀

作業所はとても楽しく、これからもずっと皆と一緒に作業したい。60歳という節目の年だが、新しいことにチャレンジしていき、一歩一歩前進していきたい。大好きなクラシックコンサートに毎年いくぞ♪



六星舎

嶋 健至

今の仕事の草刈りは楽しい。リラックスしながら楽しく今まで通り、仕事を頑張っていきたい。週末のサイクリングにおいて、自転車のメンテナンスや掃除を楽しく行っている。それに乗って、県外までいくぞ♪



くろしお作業所

松田いづみ

今年も1年、元気に頑張ります。松田聖子さんの「赤いスイートピー」を歌うのが得意です。またよかったら、聴きに来てね。



ソーシャル ファーム ピネル

茂野 起美

ソーシャル ファーム ピネルでクリーニングの仕事を一生けんめいしています。ピネルでみんなと話をするのが楽しいので、元気に仕事をにつけたいと思います。



叶夢向

牧野 能成

今年もお仕事頑張ります！



麦の郷職員研修を終えて



12月3日（土）朝日新聞和歌山総局 下地 毅さんを迎え、「沖縄戦・沖縄差別問題から学ぶ～その背景にある私たちの課題～」の研修が開かれました。中央コミュニティセンターを会場としハイブリッド形式で、分散会場を含め100人近い参加者となりました。

沖縄戦があった際、身を守るための「チビチリガマ」での集団自決のお話を聞かせて頂き、もし自分がその立場だったら…。想像するだけで戦争の恐ろしさを感じます。戦争も平和も人間がつくりだすもの。今回聞いたことを聞きっぱなしで終わらないで、職場などでも意見交換をしながら「戦争や平和について」語り継いでいく時間が大切なんだと感じました。

また、「差別問題」についても、知らずに過ごしている事が知らない間に差別につながっているという事に、しっかり研修などを通して意識改革をしていかないといけないと改めて感じました。

(麦の郷教育研修委員会 山本 祥久)





いくつかのきょうされん大会の分科会に「健康」のテーマで利用者として参加させていただきました。いろんな県に行って、いろんな仲間と出会って話し合っていて仲間の気持ちや思いを知ることが出来て、相手に伝える気持ちは大事ななと思いました。コロナがありましたけれど、今年、2022年のきょうされん大会に出れてよかったです。良い経験になりました。ありがとうございました。
コメンテーターとして参加したなかまより

陸前高田の鳥羽太市長がまちづくりについて、「何をつくるかではなく、誰がつくるのが大切であり、行政ではなく市民と共にすることである」という言葉に首長の意識でまちは変わるし、変えられるのだと実感し、私のまちについても考える機会となりました。

滞在中には復興を続けるまちを視察し、公園とコミュニティ施設を中心にお店が立ち並び人々が集う空間づくり、役所・美術館などの公共施設は地産の林業を活かした木造建築がされているなど、様々なまちづくりの工夫とそこに込められた想いを感じました。

3年ぶりに対面で行われた本大会、どうして「現地に来てもらうこと」にこだわったのかを肌で感じることのできる大会でした。

(創 cafe 石橋 由季子)



久々に現地でのきょうされん大会に参加させていただきました。実行委員長はなんと、陸前高田の市長だそうです。自治体の首長が実行委員長を務めるのは、45回目にして初めてだそうです。

素敵ですね。

『ノーマライゼーションという言葉のいらない町づくり』

将来の共生社会を目指し、みんながその気持ちを持って行動していけば、いずれは垣根のない誰もが住みやすい社会になる。

いろんな方々が必ず関わって、世界は成り立っている。それに目を向け、感謝を忘れずにいたいと思いました。

(事務所 東 沙稚子)



近年コロナ禍でスタッフの私自身が作業所旅行の経験も無いままの状態が続いていますが、きょうされん第45回全国大会になかまや職員と参加し、遠方の開催の為、移動や宿泊を共に過ごす時間を初めて経験しました。なかまとの関わり方が今のままでいいのかを自問自答する日々の中で、新しい視点を学びたいと思い参加しました。きょうされん東北メンバーが開催する会場の雰囲気、ホテルで見かけた他作業所のなかまや職員のやり取り、分科会で紹介された作業所について、自分やはぐるま共同作業所に置き換えて考える機会を頂けたことに感謝します。作業を進めるあまり、なかまとの関わりが疎かになることがないように、一人ひとりと向き合い、毎日来ることが楽しみな作業所にできるよう、今後も自己研鑽を積んでいきたいです。

(はぐるま共同作業所 小山 英里華)

優生保護法問題の全面解決をめざす 10.25全国集会in日比谷公園音楽堂に参加して



私は、10月25日に日比谷公園音楽堂で行われた、全国集会、デモ行進に参加しました。現地と中継と合わせて約2500人の方が参加していました。原告や弁護士の方からの言葉は、どれも心が締め付けられるものばかりでした。私は、参加者と道行く人たちの温度差があることを実感し、現地に行く意義を強く感じました。そして、無関心な道行く人たちの温度差を少しでも無くすために、日々の生活の中で、草の根のように、身近な人たちから思いを共有していくことも大事であると感じました。

国はまだ、障害のある人から子どもを持つという自己決定を奪ったという事実を認めていないこと、国が優生保護法によって、国民に優生思想を根深く植え付け、障害のある人への差別を生み出したということ、まずこの通信を読んでいる方々に知ってもらいたいです。そして、一緒に憤りを共有し、広げていきたいです。

(創 cafe 圓山 歩実)

和の杜キッチンカー祭り開催！



10月21日(金)に、普段は様々なイベントに出店している、オフィス kokomoさんとキッチン・パンダさんのキッチンカーが和の杜のために貸切営業をして下さいました！台湾フルーツティーやハンバーガーに加え、キラピカすくいなどのゲームもあり、行楽日和の中みんな思い思いの時間を過ごしました。

(和の杜 大末 翔平)

すす払いをして頂きました



12月10日(土)に関西電力労働組合和歌山支部の皆様が、こじか園のすす払いに集まってくださり、窓掃除や部屋のフックスがけをして下さいました。日頃、職員だけではなかなか、掃除することが難しい廊下のはりや高い所にある窓の埃を払ったり、窓ふきをして頂き、園舎の窓がピカピカになりました。また、こじかっ子一人ひとりにプレゼントを頂き園庭で遊べるよう自転車を2台頂きました。自転車は大切に使い遊んでいきたいです。(こじか園 藤丸 祥子)

生駒山上遊園地に行ってきました



暑くなく寒くない気候でメンバー9名、スタッフ5名の計14名で行ってきました。山上の遊園地ということもあり、眺めがとてもきれいで、アトラクションだけでなく目で見て楽しめる場所でした。最初乗り物を怖がっていましたがみんなと一緒に乗れたり、アトラクションには乗らずみんなの様子を見て楽しんだり、誰も行きたがらないお化け屋敷に張り切って行ったりとメンバーの新たな一面が見られた一日でした。このレクを通して普段見られないメンバー一人ひとりの表情や発見があり、スタッフ、メンバー共に楽しい時間を過ごすことができました。(Po-zkk 郷地 麻理)

第9回 はまゆう杯ソフトボール大会



はまゆうソフトボール大会の感想を言います。1年前は優勝を目指したかったけど、相手に負けて悔しかったです。今年の10月18日のソフトボール大会の日は優勝を目指したかったけど、2回目も相手に完敗しました。来年のソフトボール大会の日も、もう一度優勝を目指して頑張ります。

(はぐるま共同作業所 給食事業部 今泉 将吾)

まずはじめに、はまゆうソフトボール大会を開催してくれてありがとうございました。とても楽しい時間をすごせました。天候の方もすごくよかったと思いました。昔の青春時代を思い出したような気がします。

(はぐるま共同作業所 給食事業部 千川 公彦)

創文化祭 2022 『HA・JI・MEの一步』



今年はみんなで文化祭をしよう！となり、コントと合唱をする事になりました。

今まで一度もコントをした事なかった

ですが、文化祭当日、約40人くらいのお客さんに来て頂いて、お客さんが笑ってくれて嬉しかったです！

合唱はカフェ終わりに練習し、練習からみんなで楽しくできて、本当に良かったです！

当日、ピアノも歌も最高に良かったと思います！(笑)こんなに青春を感じる時間を過ごせると思ってなかったんで、本当にいい思い出になりました！

文化祭に来てくださった皆さん本当にありがとうございました!! (ハートフルハウス創 K・K)

白浜レクリエーション



澄み渡る秋空の下、叶夢向のみんなで南紀白浜に行ってきました。ホテルシーモアでの豪華な昼食に、とれとれ市場でのお土産選び、そしてアドベンチャーワールドでイルカショーや待望のパンダ達。かわいい動物に癒され久々の小旅行を満喫しました。

(叶夢向 藤本 数馬)

クリスマス会をしました



和歌山生活支援センターのクリスマス会が12月16日と22日の2回に分けて行われました。時間は各1時間半、みんなでお菓子やケーキを食べながら、O×クイズやペットボトルボーリングをしました。笑い声や楽しそうな話声がたくさん聞こえる、とても賑やかで楽しい時間となりました。

(麦の郷和歌山生活支援センター 構口 大輔)

2022年くろしお作業所クリスマス会



12月22日(木)にくろしお作業所内で、クリスマス会を行いました。午前中は各班で活動をして、クリスマス仕様のかわいい、美味しいお弁当を食べた後、全員同じ部屋に集合をしてクリスマス会開始です。ひまわり班が作ってくれたケーキを食べ、実行委員さん達が企画してくれたじゃんけんゲーム、クリスマスソングを歌って、踊って、普段とはまた違った仲間たちの輝いた表情を見ることができ、ほっこりした1日となりました。(くろしお作業所 川崎 愛香)

もうすぐバレンタイン♡



はぐるま共同作業所



くろしお作業所

ただいま、バレンタインギフト商品を試作中です。どんな商品が出来上がるかお楽しみ。チラシが届くまで、もうしばらくお待ちください。ご注文は、各事業所まで。

赤い羽根の共同募金のお礼



赤い羽根の共同募金の助成により、新しく木製のすべり台を頂きました。毎日、子どもたちは、楽しんですべり台にのぼりすべって遊んでいます。大切にしていきたいと思ひます。

(こじか園)



赤い羽根共同募金の助成により、振動ふるい機を導入しました。効率的で安定した生産が可能になり、スタッフの充実感や自信にも繋がっています。ご協力賜りました関係各位に感謝申し上げます。

(ソーシャルファームもぎたて)

お詫びと訂正



こんな可愛いくらげならイイな。

前回9月号4ページ、むぎピース作品展の作品紹介の中で作者の氏名を誤って記載しておりました。正しくは『福崎 ルミ子さん』の作品です。訂正して、お詫び申し上げます。



SNSはじめました

たくさんフォローおまちしています。

ソーシャルファームもぎたて



創 cafe



cafe mulino



紀の川生活支援センター



オープンカフェ風車



meguri

